

# 2020年5月期 第2四半期決算説明会

(証券コード：7713)

 シグマ光機株式会社

2020年1月17日(金曜日)

# 目次

- 1. 2020年5月期 第2四半期 決算概要**  
**管理副本部長 兼 経理部長** **石井 康之**
- 2. 2020年5月期 事業戦略 及び 通期見通し**  
**執行役員 管理本部長** **菊池 健夫**
- 3. 2020年5月期 営業戦略**  
**営業本部長** **森 政之**
- 4. 質疑応答**

# 1 2020年5月期 上期決算概要報告(連結)



世界経済減速の影響を受けて、産業分野向け組込み用途が減少。  
FPD、半導体業界等の設備投資が減速。防衛業界や医療業界は回復の兆し。

【百万円未満 切り捨て】	18/5期2Q	19/5期2Q	20/5期2Q		期初予想差額 (予想比)	サマリー
	累計実績 (前年同期比)	累計実績 (前年同期比)	累計実績 (前年同期比)	構成比		
売上高	4,337 (+15.1%)	4,608 (+6.2%)	4,299 (▲6.7%)	100.0%	▲240 (▲5.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育機関、公的機関向け研究開発分野は横ばいで推移</li> <li>・産業分野向けは設備投資が伸び悩み、軟調に推移</li> <li>・米国は堅調も、欧州、アジアは軟調に推移</li> </ul>
営業利益	695 (+57.0%)	710 (+2.0%)	397 (▲44.0%)	9.2%	▲127 (▲24.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品ポートフォリオ変化で粗利率低下</li> <li>・設備投資による減価償却費の増加</li> <li>・継続的な拡販活動により広告宣伝費が増加</li> </ul>
経常利益	760 (+53.1%)	797 (+4.8%)	452 (▲43.3%)	10.5%	▲127 (▲22.0%)	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	511 (+56.2%)	531 (+3.8%)	295 (▲44.4%)	6.9%	▲69 (▲19.0%)	
1株当たり 四半期純利益	68円80銭	75円06銭	41円75銭	—	—	
平均為替レート						
1USD	111.42円	110.07円	109.00円		105.00円	
1人民元	16.47円	16.68円	15.76円	—	15.50円	
1Y-口	126.63円	129.88円	121.43円		120.00円	
1SGD	—	—	79.60円		80.00円	

# 2 セグメント別売上高・営業損益(連結)

## 売上高

【百万円未満切り捨て】

製品区分	18/5期	19/5期	累計実績	20/5期	前年同期比
	2Q	2Q		2Q	
	累計実績	累計実績		構成比	
<b>要素部品事業</b>	<b>3,391</b>	<b>3,697</b>	<b>3,571</b>	<b>83.1 %</b>	<b>▲3.4 %</b>
光学基本機器製品	1,200	1,276	1,274	29.7 %	▲0.1 %
自動応用製品	582	673	682	15.9 %	1.4 %
光学素子・薄膜製品	1,608	1,748	1,614	37.5 %	▲7.7 %
<b>システム製品事業</b>	<b>965</b>	<b>955</b>	<b>762</b>	<b>17.7 %</b>	<b>▲20.2 %</b>
光学システム製品	965	955	762	17.7 %	▲20.2 %
消去	▲18	▲44	▲35	▲0.8 %	-
<b>合計</b>	<b>4,337</b>	<b>4,608</b>	<b>4,299</b>	<b>100.0 %</b>	<b>▲6.7 %</b>

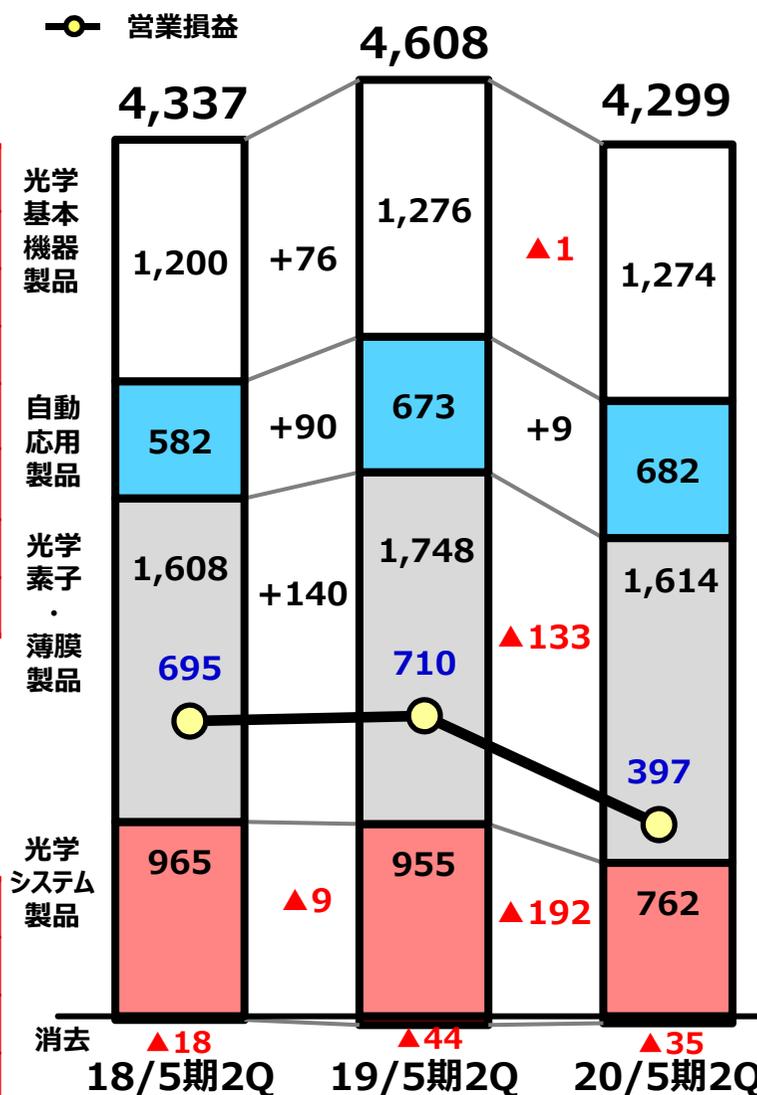
## 営業損益

【百万円未満切り捨て】

事業区分	18/5期	19/5期	累計実績	20/5期	前年同期比
	2Q	2Q		2Q	
	累計実績	累計実績			
<b>要素部品事業</b>	<b>760</b>	<b>827</b>	<b>605</b>	<b>▲26.8 %</b>	
<b>システム製品事業</b>	<b>189</b>	<b>150</b>	<b>40</b>	<b>▲73.2 %</b>	
消去	▲253	▲268	▲248	-	
<b>合計</b>	<b>695</b>	<b>710</b>	<b>397</b>	<b>▲44.0 %</b>	

## 売上高

【百万円未満切り捨て】



## 3

## グループ所在地別売上高・営業損益(連結)

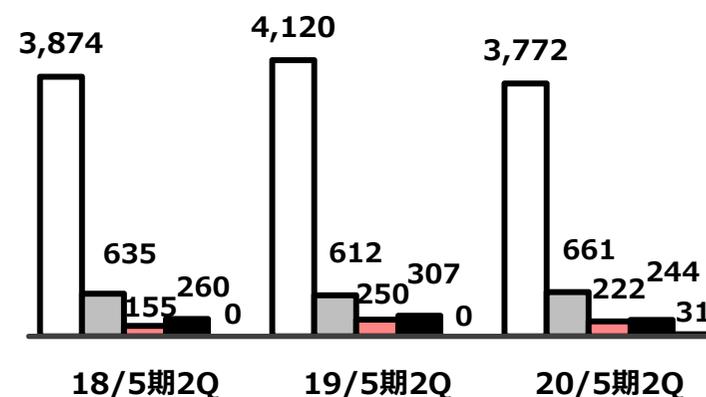


【百万円未満 切り捨て】	18/5期2Q累計		19/5期2Q累計		20/5期2Q累計	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
日本	3,874	789	4,120	798	3,772	559
アメリカ	635	115	612	60	661	34
フランス	155	▲6	250	10	222	▲11
中国	260	44	307	64	244	35
シンガポール	-	-	-	-	31	▲7
消去 又は全社	▲588	▲247	▲682	▲223	▲632	▲213
合計	4,337	695	4,608	710	4,299	397
平均為替レート						
1USDドル		111.42円		110.07円		109.00円
1人民元		16.47円		16.68円		15.76円
1ユーロ		126.63円		129.88円		121.43円
1SGD		-		-		79.60円

## 売上高

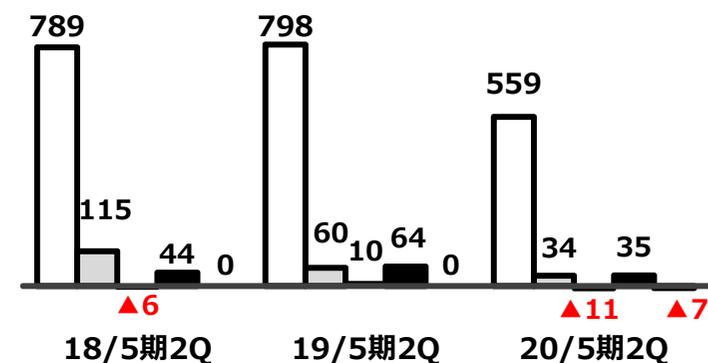
※消去額を除く  
【百万円未満切り捨て】

日本 アメリカ  
フランス 中国  
シンガポール



## 営業損益

※消去額を除く  
【百万円未満切り捨て】



## 北米地域は堅調も、欧州・アジアは軟調に推移。

バイオ・メディカル業界向け組込み用途がけん引して北米地域は堅調に推移。  
アジア地域は中国・台湾・韓国の産業分野向けが低調。欧州地域も軟調に推移。

【百万円未満 切り捨て】	18/5期2Q	19/5期2Q	20/5期2Q			サマリー
	累計実績 (構成比)	累計実績 (構成比)	累計実績	構成比	前年同期比	
売上高	4,337 (100.0%)	4,608 (100.0%)	4,299	100.0%	▲6.7%	
海外売上高	1,270 (29.3%)	1,406 (30.5%)	1,303	30.3%	▲7.3%	・米国は一部産業分野が堅調に推移も、 欧州、アジア地域は軟調に推移
アメリカ	542 (12.5%)	501 (10.9%)	594	13.8%	18.6%	・バイオ、メディカル向け組込み用途の 光学要素部品が堅調に推移
アジア・ オセアニア	556 (12.8%)	642 (14.0%)	464	10.8%	▲27.7%	・FPD・半導体業界向け生産・検査装置の 組込み用途等が低調に推移
ヨーロッパ	145 (3.3%)	239 (5.2%)	219	5.1%	▲8.6%	・英国のEU離脱問題の影響等による産業 分野の景気減速によって軟調に推移
その他	26 (0.6%)	22 (0.5%)	24	0.6%	8.9%	

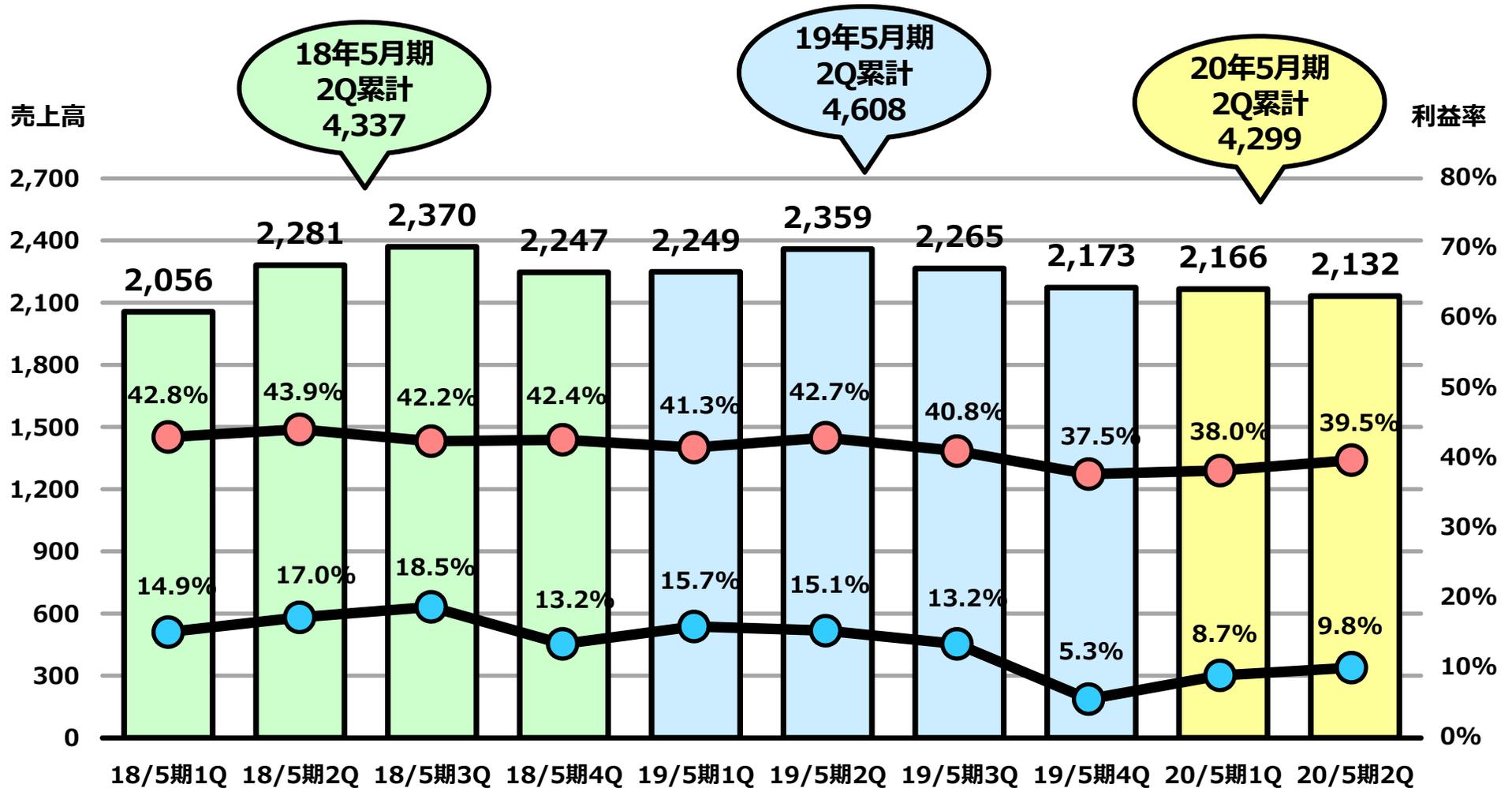
# 5

## 売上高・利益率推移（連結）



【百万円未満切り捨て】

- 売上高
- 売上総利益率
- 営業利益率



## 売上高原価率は前年同期比で3.3pt悪化。

製品ポートフォリオの変化と特注案件の増加等により材料費等の比率が増加。  
研究開発・設備投資により減価償却費が増加。

【百万円未満 切り捨て】	18/5期2Q		19/5期2Q		20/5期2Q			サマリー
	累計実績	構成比	累計実績	構成比	累計実績	構成比	前年同期比	
売上高	4,337	100.0 %	4,608	100.0 %	4,299	100.0 %	▲6.7 %	
材料費等	1,477	34.1 %	1,642	35.6 %	1,641	38.2 %	▲0.1 %	・製品ポートフォリオの変化で外注費増加 ・高難度特注案件増加で外部調達費増加 ・在庫管理徹底による在庫圧縮により増加
労務費	772	17.8 %	795	17.3 %	756	17.6 %	▲4.9 %	・働き方改革の効果もあり抑制傾向
減価償却費	113	2.6 %	108	2.4 %	120	2.8 %	10.9 %	・新規設備の稼働開始による増加
その他	92	2.1 %	124	2.7 %	113	2.6 %	▲8.3 %	
売上原価	2,457	56.6 %	2,671	58.0 %	2,633	61.3 %	▲1.4 %	
売上総利益	1,880	43.4 %	1,937	42.0 %	1,665	38.7 %	▲14.0 %	

## 販管費率は前年同期比で2.9pt悪化。

当社ブランドの海外認知度向上に向けて、海外展示会向けの広告宣伝費が増加。海外グループ各社の増員により人件費増加。減価償却費、試験研究費等が増加。

【百万円未満 切り捨て】	18/5期2Q		19/5期2Q		20/5期2Q			サマリー
	累計実績	構成比	累計実績	構成比	累計実績	構成比	前年同期比	
売上高	4,337	100.0 %	4,608	100.0 %	4,299	100.0 %	▲6.7 %	
販売促進費	191	4.4 %	210	4.6 %	200	4.7 %	▲4.6 %	
広告宣伝費	42	1.0 %	34	0.7 %	50	1.2 %	45.7 %	・海外展示会向け広告宣伝費増加
人件費	481	11.1 %	503	10.9 %	509	11.8 %	1.1 %	・海外グループ各社の増員により増加
減価償却費	21	0.5 %	24	0.5 %	36	0.9 %	50.7 %	・ITシステム資産の供用開始に伴う増加
試験研究費	157	3.6 %	159	3.5 %	164	3.8 %	2.9 %	・研究開発案件の増加
その他	289	6.7 %	294	6.4 %	307	7.1 %	4.1 %	・支払手数料の増加 ・欧州子会社の社屋移転、及びシンガポール子会社の事業開始等により増加
販売管理費	1,184	27.3 %	1,227	26.6 %	1,268	29.5 %	3.3 %	
営業利益	695	16.0 %	710	15.4 %	397	9.2 %	▲44.0 %	

【百万円未満切り捨て】	19/5期	19/5期	20/5期		サマリー
	2Q	期末	2Q	前期末比	
現金・預金	2,542	2,407	2,888	20.0 %	・借入及び金銭信託償還による増加
受取手形・売掛金	2,051	1,854	1,996	7.7%	
電子記録債権	709	708	781	10.4 %	
棚卸資産	2,465	2,591	2,336	▲9.8 %	・在庫の減少
その他流動資産	1,692	1,326	787	▲40.7 %	・有価証券(短期金銭信託)の減少
有形・無形固定資産	2,924	3,591	3,799	5.8 %	・日高新棟建設(建設仮勘定)による増加
投資等	3,335	3,277	3,334	1.7 %	・投資有価証券時価評価による増加
資産合計	15,721	15,757	15,924	1.1 %	
支払手形・買掛金	607	483	388	▲19.7 %	
電子記録債務	534	570	370	▲35.1 %	
短期借入金	208	180	268	48.5 %	
その他流動負債	705	837	722	▲13.7 %	
長期借入金	188	115	501	333.5 %	・新規借入れによる増加
その他固定負債	777	777	792	1.9 %	
純資産合計	12,699	12,791	12,880	0.7 %	
負債・純資産合計	15,721	15,757	15,924	1.1 %	

【百万円未満切り捨て】	19/5期 2Q累計	19/5期 通期累計	20/5期 2Q累計	サマリー (当期中の増減額の要因)
営業活動	430	869	244	
投資活動	▲638	▲825	▲49	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形固定資産の取得による減少</li> <li>・金銭信託の償還による増加</li> </ul>
フリーキャッシュフロー	▲207	44	194	
財務活動	▲178	▲420	329	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期借入れによる増加</li> </ul>
現金及び 現金同等物の期末残高	2,549	2,516	2,978	

# 目次

1. 2020年5月期 第2四半期 決算概要  
管理副本部長 兼 経理部長 石井 康之
2. 2020年5月期 事業戦略 及び 通期見通し  
執行役員 管理本部長 菊池 健夫
3. 2020年5月期 営業戦略  
営業本部長 森 政之
4. 質疑応答

## 1 2015年からのスローガン

### ◆スローガン（2015年から継続）

**「アジアNo. 1」から**

**「世界No. 1」へ**

### ◆事業戦略 基本方針

- お客様満足度の最大化
- Q・C・D+R+Sを世界レベルへ
- 技術伝承・融合・総合力

# 変化に対応するものづくり力の強化

### マーケット



- 成長産業への取り組み
- 海外認知度の向上
- Webユーザビリティ

### ものづくり



- 設備増強
- 先端生産技術確立
- サプライチェーン強化

### ネットワーキング



- グローバル連携
- 協力パートナーと共創
- 産学官連携

### 人の育成



- 衆知結集&技術融合
- 働き方改革&ダイバーシティ推進
- CSR経営

### 3 2020年5月期通期計画(連結)



産業分野での景気回復の先行き不透明感から業績予想を下方修正。

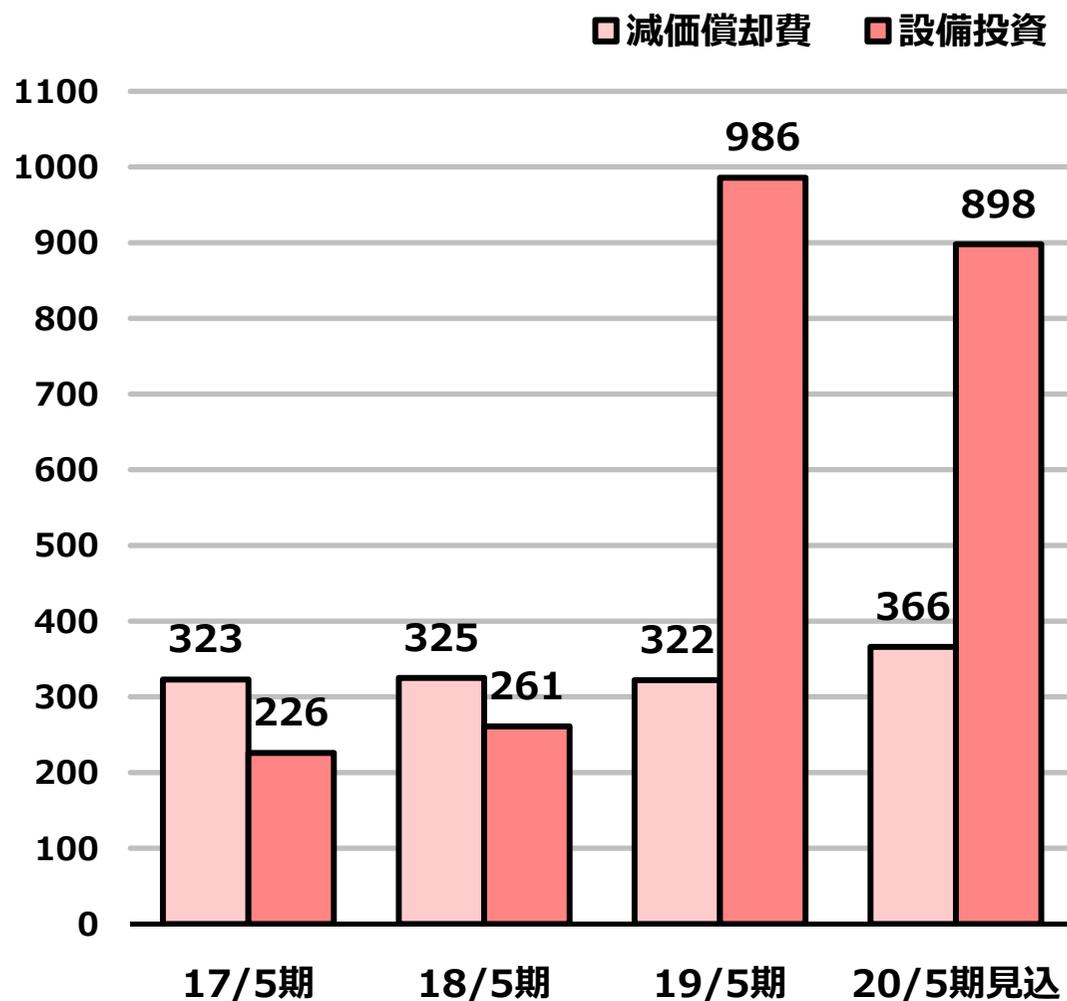
足元の需要に回復の兆しはあるものの、本格的な回復にはまだ時間がかかる見通し。  
産学官連携等の高難度案件の取り込み強化。設備投資の継続等により費用増加見込み。

【百万円未満 切り捨て】	18/5期		19/5期		20/5期				通期増減 (前年同期比)	
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	上期実績	下期 修正予算	通期 修正予算	構成比	差額	増減率
売上高	8,956	100.0 %	9,047	100.0 %	4,299	4,340	8,640	100.0 %	▲407	▲4.5 %
営業利益	1,433	16.0 %	1,123	12.4 %	397	317	715	8.3 %	▲408	▲36.4 %
経常利益	1,518	17.0 %	1,246	13.8 %	452	372	825	9.5 %	▲421	▲33.8 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,005	11.2 %	828	9.2 %	295	254	550	6.4 %	▲278	▲33.6 %
1株当り 当期純利益	138円49銭	-	116円93銭	-	41円75銭	-	77円65銭	-	-	-

当期通期見込みの算定は、為替レート(期中平均)として1USドル=108.00円、1ユーロ=120.00円、1人民元=15.50円、1SGD=80.00円で計算しております。

## 設備投資・減価償却費

【百万円未満切り捨て】



## 補足説明

【百万円未満切り捨て】

## ◎ 主要設備投資

## ○ 17/5期

・光学素子設備増強投資	0.9億円
・検査測定機器投資	0.2億円
・基本機器設備増強投資	0.2億円
・情報システム投資	0.3億円

## ○ 18/5期

・光学素子設備増強投資	0.8億円
・研究開発設備投資	0.3億円
・情報システム投資	0.4億円
・上海シグマ光機設備投資	0.2億円

## ○ 19/5期

・日高新規工場棟建設	4.3億円
・光学素子設備増強投資	2.6億円
・オプトシグマヨーロッパ 新社屋購入	1.2億円
・情報システム投資	0.5億円
・オプトシグマ設備投資	0.3億円

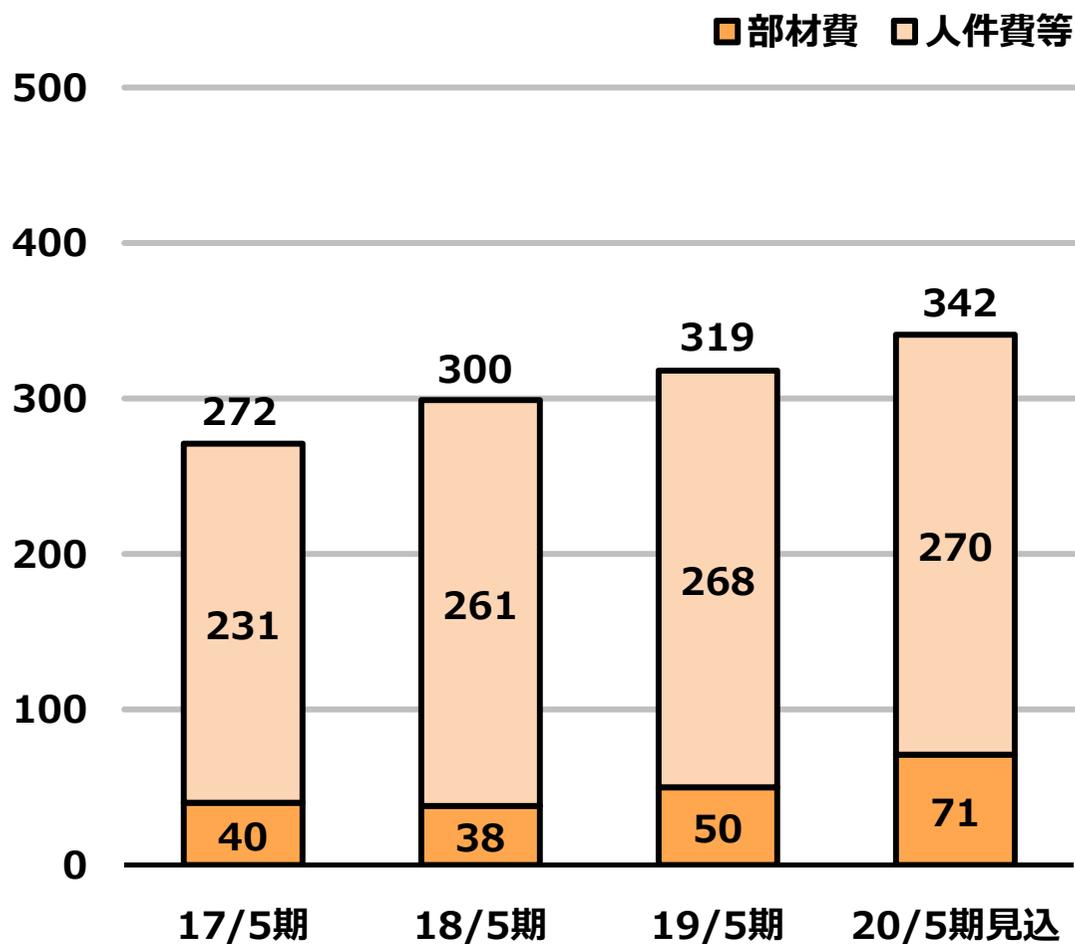
## ○ 20/5期見込

・日高新規工場棟建設	6.3億円
・上海シグマ光機設備投資	0.4億円
・光学素子設備増強投資	0.3億円
・情報システム投資	0.3億円

# 6 研究開発費見込み(連結)

## 研究開発費

【百万円未満切り捨て】



## 補足説明

【百万円未満切り捨て】

### ○部材費

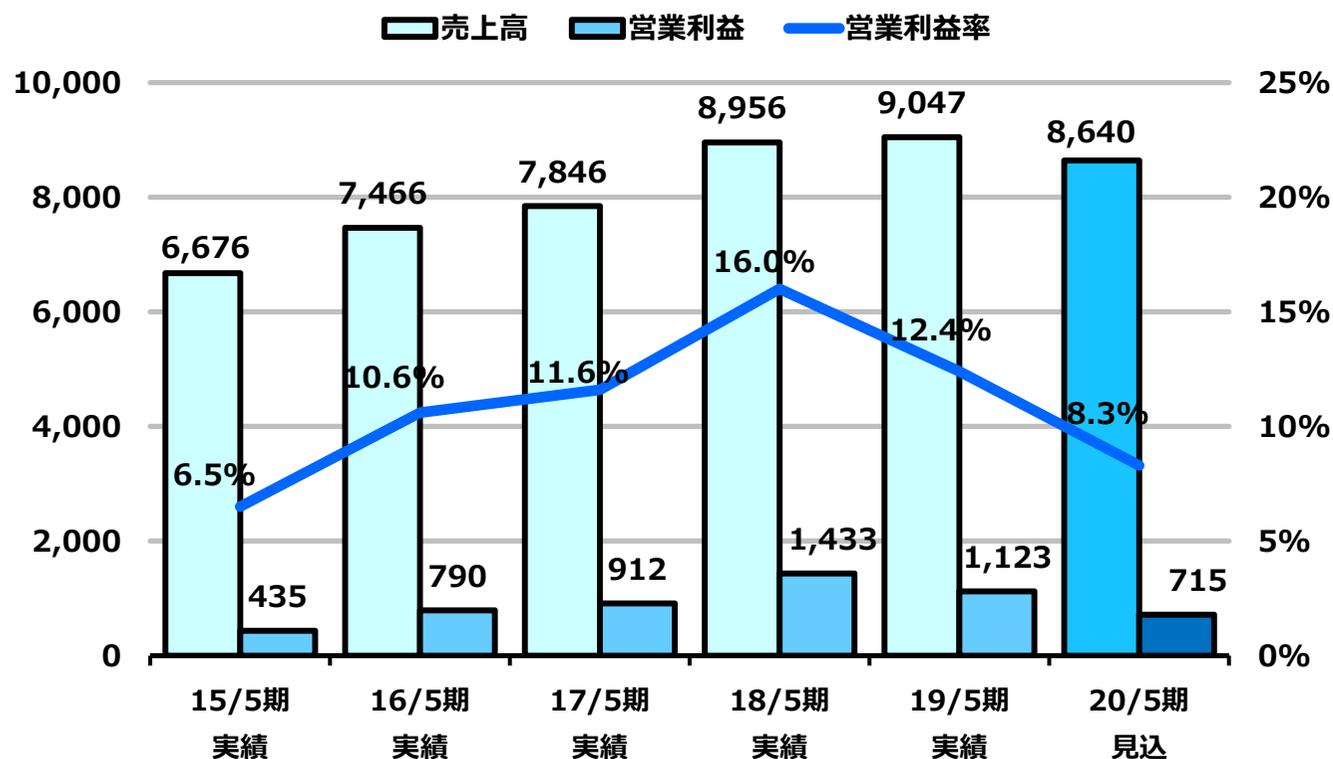
	自社	産学官連携
17/5期	39	1
18/5期	38	0
19/5期	50	3
<b>20/5期見込</b>	<b>71</b>	<b>25</b>

### ○人件費等

	人件費等	研究開発費 (人件費等込) 売上高比率
17/5期	231	3.5%
18/5期	261	3.4%
19/5期	268	3.5%
<b>20/5期見込</b>	<b>270</b>	<b>4.0%</b>

# 7 売上高・営業利益・営業利益率予想(連結)

【百万円未満切り捨て】



## 2020年5月期通期サマリー

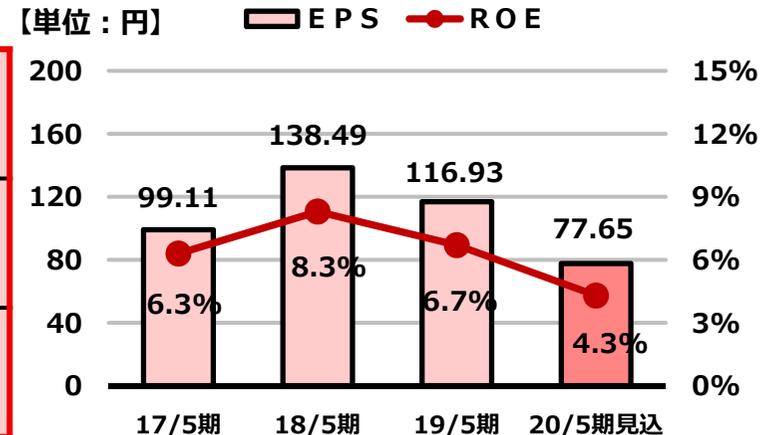
- ① 売上高の減少
    - 産業分野の先行き不透明感高まる
    - 将来有望成長分野の取り込み強化
  - ② 売上原価率の増加
    - 特注案件増加により外部調達増加
    - 設備投資による減価償却費の増加
  - ③ 販売管理費率の増加
    - 海外展示会等の広告宣伝費の増加
    - 設備費・試験研究費の増加
- <販売展開の強化>
- 成長分野のリピート・OEMの取込み
  - 高付加価値光学モジュールの提案
  - ウェブ（Eコマース）での受注強化

## \* 強固な財務体質を堅持 (連結)

- ① 自己資本比率 19/5期 : 80.8% → 20/5期2Q : 80.5%
- ② 利益剰余金 19/5期 : 7,394百万円 → 20/5期2Q : 7,548百万円
- ③ 純有利子負債 19/5期 : ▲2,110百万円 → 20/5期2Q : ▲2,117百万円

## 連結EPS・ROE

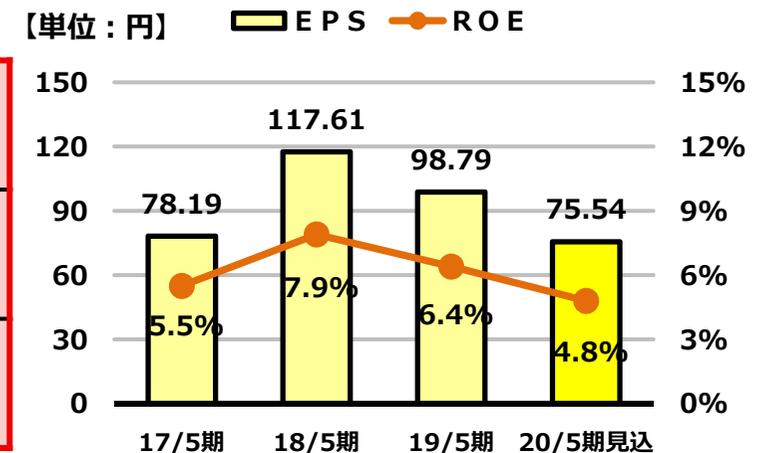
	17/5期 通期	18/5期 通期	19/5期 通期	20/5期 通期見込
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	746	1,005	828	550
1株当たり 当期純利益（円）(EPS)	99.11	138.49	116.93	77.65
自己資本 当期純利益率（%）(ROE)	6.3	8.3	6.7	4.3(※)



※2019年5月期末の自己資本額を元に試算しております。

## 単体EPS・ROE

	17/5期 通期	18/5期 通期	19/5期 通期	20/5期 通期見込
当期純利益（百万円）	588	854	699	535
1株当たり 当期純利益（円）(EPS)	78.19	117.61	98.79	75.54
自己資本 当期純利益率（%）(ROE)	5.5	7.9	6.4	4.8(※)

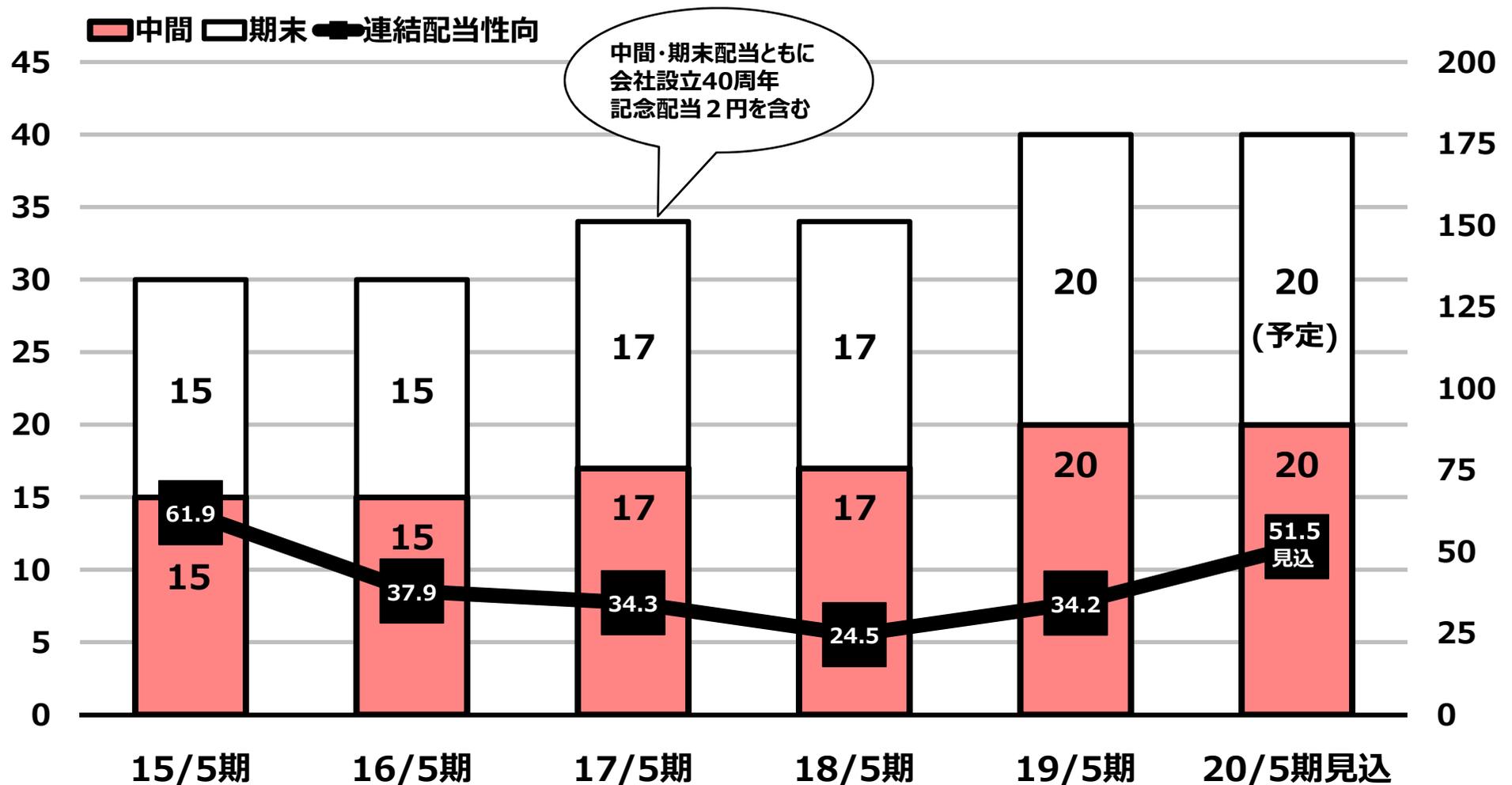


※2019年5月期末の自己資本額を元に試算しております。

## 継続的・安定的な配当を維持

【単位：円】

【単位：％】



# 目次

1. 2020年5月期 第2四半期 決算概要  
管理副本部長 兼 経理部長 石井 康之
2. 2020年5月期 事業戦略 及び 通期見通し  
執行役員 管理本部長 菊池 健夫
3. 2020年5月期 営業戦略  
営業本部長 森 政之
4. 質疑応答

# 1 45期2Qの営業展開

## ■ 国家PJ関連：量子関連向け光学ユニット・光学素子

(スーパーミラー・光共振器・超高安定ホルダ等)

## ■ 5G・光通信関連：ファイバー/導波路用自動調芯装置、モジュール生産



## ■ スマートフォン関連：OLED生産設備向け光学ユニット、対物レンズ等

## ■ 半導体関連：高難度光学ユニット、光学素子、クリーン対応自動ステージ等

## ■ 車・センシング関連：生産設備用光学ユニット、光学モジュール等

## ■ 防衛・航空宇宙関連：耐放射線レンズ、光学ユニット・光学素子等

## ■ メディカルフォトンクス関連：医療用レーザシステム・医療用光学システム等

① OEM・ODM案件創出

② チャレンジ案件獲得

③ 新規潜在顧客層開拓

④ お客様満足度向上

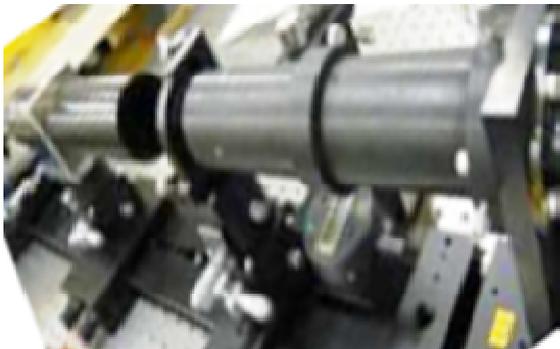
⑤ 魅力的な新製品投入・ラインナップ強化

- 海外含むお客様の事業所・研究室で**プライベート展**を実施。  
開発設計部門・購買部門へ**特注対応力と応用例**を説明、  
OEM・ODM案件を創出



カタログ製品やユニット実機を実際にご覧いただき、  
当社ケイパビリティを説明しお客様が必要な製品を  
提案・具現化

■ 国内・海外から当社技術力へ期待した  
**国家PJ含む高難度案件**を技術開発部門と連携対応



高精度光学ユニット

設計技術  
製造技術  
評価技術

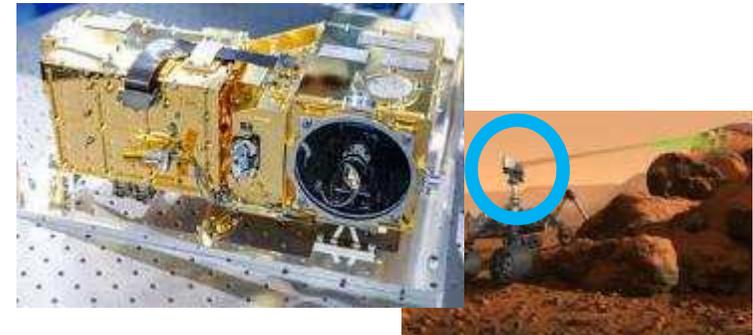
生産設備用OEM製品  
 として、海外含め受注  
 対応中



高精度オプティカル・キャビティ

スーパーミラー  
接合技術

量子関連等、先端研究分野、  
 海外含め問い合わせ・受注  
 対応中



©A.Maestas,NANL

NASA/CNES 「Mars2020計画」

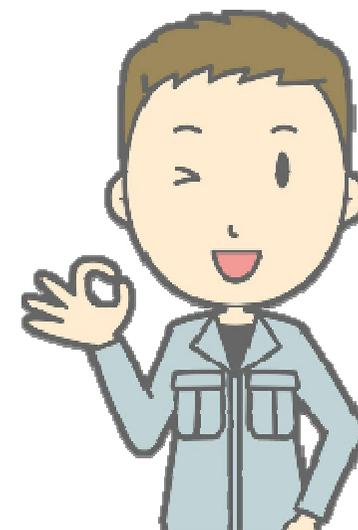
火星探査機搭載予定の  
SuperCam検出器用光学素子

※お客様による評価テストはクリア、  
 2020/7打ち上げに向け継続中  
 ※各国から天文・航空宇宙向け  
案件の引き合い増加

## 2

### ③新規潜在顧客層開拓

- **成長分野の新規お客様開拓**による案件創出と受注寄与
- **専門分野の展示会**での技術者から研究者へ製品説明、  
新規お客様を開拓

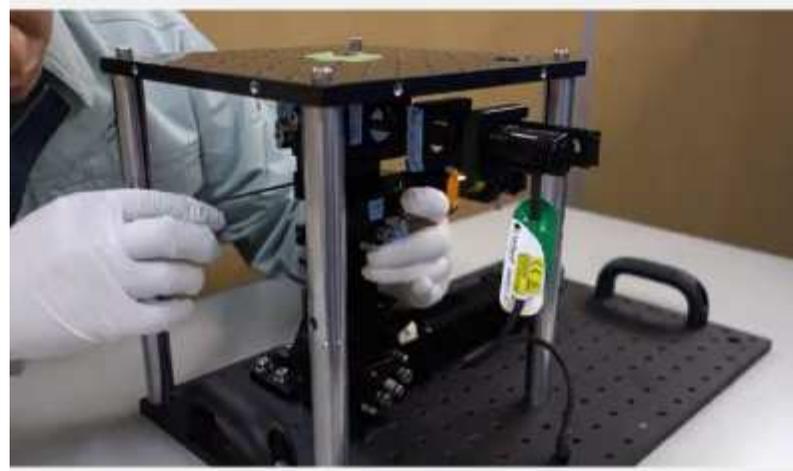


**お客様の要望に合った、メーカーならではのソリューション提案**

## 2 ④お客様満足度向上

# WEBの改善と最大活用

- **お客様からの意見を反映し、簡単に必要な製品を見つけやすいように改善**
- **動画による製品の組み立て手順を公開**



組立09 補足2 赤レーザーユニットの導入

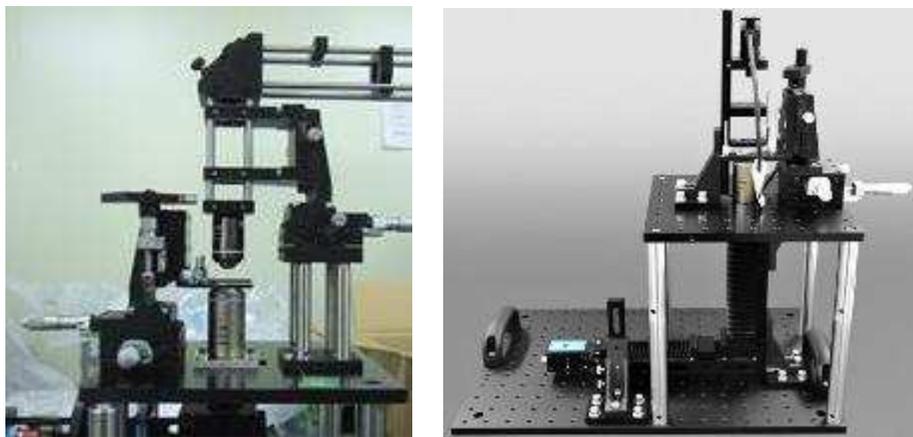
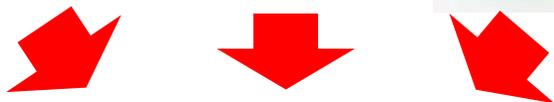
[コアユニット顕微鏡ガイドの動画](#)



お客様に満足していただけるように継続して改善

## ■ 研究用途向け拡張用パーツ、生産設備用新製品の ラインナップ強化

研究者ごとに違う製品要求を満たすパーツ製品の  
ラインナップ強化



研究者毎に異なる要求を実現する為、  
ラインナップ強化中

生産設備の小型化に必要な小型自動ステージ



生産設備の小型化に貢献

### ■ アジア地域（中国・韓国・台湾・シンガポール）

- ・半導体関連向け高精度光学ユニット等向け大型案件の受注実績
- ・スマートフォン関連装置向け対物レンズ等は減速 ⇒ 45期3Qに動きがある見込み
- ・世の中に無い、お客様が必要な高精度光学ユニット等の受注増加

### ■ 北米地域

- ・国家PJ等の高難度チャレンジ案件の新規引き合い増加
- ・バイオメディカル・バイオフォトニクス用光学ユニットの大口OEM生産・出荷開始
- ・防衛/航空宇宙分野開拓に向けITAR登録 ⇒ 同マーケットからの案件創出

### ■ EU圏

- ・国家PJ 等の大口・高難度チャレンジ案件の実績増加と引き合い増加
- ・レーザ装置等への組込み用OEM製品の実績増加
- ・バイオフォトニクス用光学システムの実績増加

### 3 海外マーケット概況-2

## ■ シンガポール現地法人会社営業活動状況 (OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.)

バイオメディカル・レーザ & フォトニクス・  
精密工学・航空宇宙・半導体関連の  
大手企業研究開発部門及び製造拠点が  
集中。

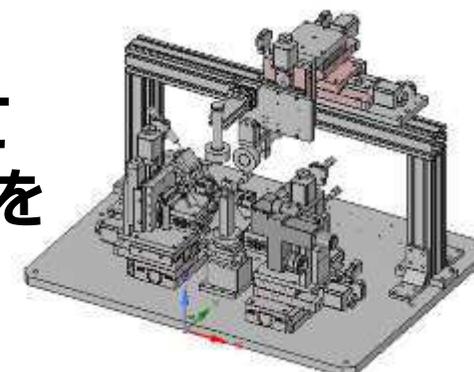


シンガポール共和国と東南アジア地域

## 最先端研究・開発案件から OEM・ODM案件の案件創出



最先端研究・開発分野への展開として  
光通信デバイス開発向け評価装置を  
受注。



## 4 今後の注力マーケット・製品展開-1

### ① 量子関連

- 高難度/高精度光学ユニット開発。蓄積された技術を新製品に展開。

### ② 5G・光通信関連

- ファイバー調芯装置の案件獲得及びモジュール・検査装置への展開。

### ③ 防衛/航空宇宙関連

- 光学ユニット・光学素子の大型リピート受注及び新規案件創出。

### ④ 医療用レーザーシステム・バイオフォニクス関連

- 検査装置向け医療用ユニット分野への展開。

### ⑤ 半導体関連

- 高付加価値な高精度光学ユニットの開発及び案件獲得。



### ⑥ FPD関連

- OLED生産設備向け光学ユニットの案件獲得。



## 4 今後の注力マーケット・製品展開-2

### ■ 量子関係等の先端研究分野へ高精度・高分解能な製品を拡販

#### ① ナノフィードバックステージシリーズ

量子関連・半導体・通信・材料分野の研究用途、生産設備用途。



ナノオーダー位置決め装置



専用コントローラ

1nm・5nm・10nm・サブミクロンまでラインナップ、お客様の要求に合った製品提案

#### ② 高分解能・高安定製品

特殊環境用高付加価値な新製品を市場投入、先端研究分野研究者への製品提案



ピエゾアシストステージ



真空用対物レンズ



X線イメージングユニット



薄膜シンチレータ



高安定ミラーホルダー

# 目次

1. 2020年5月期 第2四半期 決算概要  
管理副本部長 兼 経理部長 石井 康之
2. 2020年5月期 事業戦略 及び 通期見通し  
執行役員 管理本部長 菊池 健夫
3. 2020年5月期 営業戦略  
営業本部長 森 政之
4. 質疑応答

**ご清聴ありがとうございました。**

**本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。**

**よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証は致しかねますのでご留意ください。**